

# 岩木川ダム 統管だより

051号  
2021年  
7月29日



浅瀬石川ダム・津軽ダム

## ダム吹鳴試験・避難行動訓練を実施



# ダム吹鳴（すいめい）試験を実施！



河川の水位が～  
急激に上昇する見込みですので～  
十分注意してください～

▲浅瀬石川ダム下流「落合警報所」からの緊急放流の案内放送



▲警報所スピーカ・サイレンの音量を測定し、目標値をクリアしていることを確認しました



▲案内放送・サイレン音を確認し、避難準備！



▲避難所までの「避難行動訓練」



令和3年7月8日(木)と9日(金)の2日間、当事務所が管理する浅瀬石川ダムと津軽ダムにおいて大規模洪水を想定した『ダム吹鳴試験』を実施しました。

浅瀬石川ダムでは8日9時に試験を開始、上流から順に最下流の真那板警報所までの全27箇所のスピーカで「緊急放流」の際に流す案内放送を行い、その後60秒間のサイレンを繰り返し4回鳴らして付近の住民に“確実に情報が伝わるか”や“音の届き方”を確認しました。翌9日は、津軽ダムと下流の4警報所において同様の試験を行いました。

また、防災意識の向上に繋げていただくことを目的に吹鳴試験にあわせて実施した『避難行動訓練』に、浅瀬石川ダム下流の黒石市板留地区の落合警報所周辺の住民7名、津軽ダム下流の西目屋村居森平警報所周辺の住民8名が参加しました。

浅瀬石川ダム下流の避難行動訓練に参加した丹羽（にわ）さんは報道記者の質問に対し、「この辺りは、崖、水、全てに係わる地域なのでよほど気を付けていかなければならない。自助・共助どちらも大事。みんなで協力して安心な場所に避難できるようにしたい。」とお答えになりました。

最後に当事務所技術副所長の佐々木は、「仮にダムが緊急放流をするような場面でも、各自治体が発する避難情報に従い、是非『いのちを守る行動』をしていただきたい。」とコメントしました。

今回の訓練実施地域以外の方も、各自治体が発行する防災マップや当事務所がホームページで公開している1,000年に一度を想定した「浸水想定図」をこの機会にご確認いただき、皆様お一人お一人の防災意識の向上にお役立てください。

吹鳴試験等は、来年度以降も継続して実施する予定です。

※緊急放流とは、計画以上の洪水によりダム湖に貯められなくなり、ダム湖に流れ込んでくる水をそのままダムを通過させ、下流に流すことです。ダム湖に流れ込んでくる水量以上を下流に流すことはありません。



黒石市板留（落合野）地区は、  
・昭和50年代に中野川の氾濫被害  
・合流点周辺は「土砂災害警戒区域」にも指定

## 浅瀬石川ダム・津軽ダム 夏休み前の安全利用点検を行いました

春の大型連休前の点検に続き、水辺施設等について安全に利用出来るよう、夏休み前の令和3年6月29日(火)と30日(水)の2日間で、浅瀬石川ダム及び津軽ダムの河川公園などを施設管理者(占有者)等と点検を行いました。

特に問題がある箇所はありませんでしたが、利用者の皆様には、安全には十分ご注意くださいご利用いただきますよう、お願いします。



▲維持工事業者との点検  
(白神が故郷橋パーク)



▲占有者との点検  
(ふれあい広場(虹の湖公園))

## 浅瀬石川ダム

### 取水設備から発電所までの導水管の年点検実施

浅瀬石川ダム  
イメージキャラクター  
あっちゅとび



令和3年7月5日(月)、浅瀬石川ダムでは、共同取水設備から浅瀬石川発電所まで送水する導水管(水圧管)内部について、錆、傷などの損傷がないか、年に一度の点検(年点検)を行いました。

まず点検箇所である導水管の入口までは、ダム天端からはしご階段を約50m下ります。次に、勾配25度の導水管内を上から下へ垂らしたロープにつかまり腕力で支えながらゆっくりと後ろ向きに、管内点検をしながら進みます。管内径は大きいところは3.1m、狭いところで2.3mです。

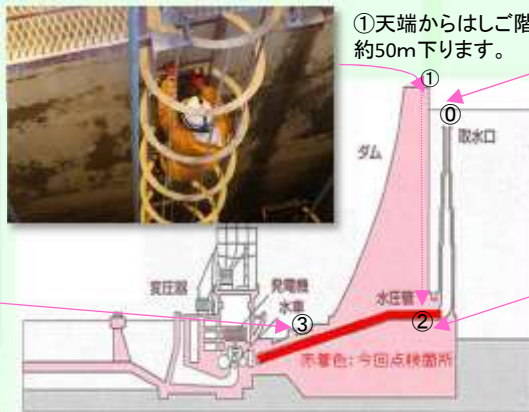
当事務所では適切なダム管理のため必要な点検を行い、安全管理に努めて参ります。



①共同取水設備を上から見た様子



②導水管入り口。勾配25度の管内をこのロープを伝い後ろ向きに進み、約100mの管内部に錆や傷など損傷がないか点検を行います



③導水管の分岐管である放流バルブを外から見た様子



①天端からはしご階段を約50m下ります。



今回のレポートは、総務課 期間業務職員 対馬です。年1回の貴重な体験をレポートします！

## 現場レポート第12弾

### ～津軽ダム コンジットゲート年点検～



津軽ダム  
イメージキャラクター  
ベッカー君



- 日時：令和3年6月8日(火)
- 天気：曇り

今回の現場は、津軽ダムのシンボル『コンジットゲート』！毎年本格的な洪水期を前にしているこの点検は、年に一度だけ放流管内の水をすべて抜き、実際に中に入って異常が無いかなどを点検することから、“年点検”と呼ばれています。

点検は全部で3日間行われ、内部の点検のほかに、ゲートを実際に動かして正常に作動することも確認されました。現場を見せていただいた日は、最大の見どころ【2日目】の内部点検の様子です。溶接部に、錆や傷、穴などの損傷が無いかなどを丁寧に点検していました。

洪水など災害は無いに越したことはありませんが、洪水発生時の濁水を少しでも早く軽減するための『コンジットゲート』は、清掃・点検を終え、今日も静かにダム下流を見守っているようです。



▲【コンジットゲート操作室の外側】ベッカー君は8m上から見学中



▲【放流管内部にて】溶接部に異常が無いかが指差し確認



▲【放流管の横】放流管の外側や脚柱の状態もチェック！脚柱は55mmと薄い！



▲【下流から】口を開けて歯科検診を受けているみたい・・・

西目屋村内でカードを三枚集めてもらおう！

# “津軽ダム”の手ぬぐい☆



洗っても色が滲まず優秀です。手ぬぐいは乾きも早く、30度を超えるこの夏にはうってつけ。ここでしか手に入らない“津軽ダム”の手ぬぐいを、カードを集めてもらってね。

## ～“津軽ダム”の手ぬぐいをもらう方法～

- ・水陸両用バス「津軽白神号」に乗車し、台紙と水陸両用バスカードを手に入れる
  - ・アクアグリーンビレッジANMONで白神山地カードをGET！
  - ・津軽ダムカードも集めて台紙に入れる。
  - ↓
  - ・台紙の裏に、道の駅津軽白神のスタンプを押して、
  - ↓
  - ・津軽白神ツアーの窓口に見せて
  - ↓
  - ・津軽ダムの設計図が描かれた手ぬぐいをゲット♪
- 詳しくは、津軽白神ツアーまで (TEL 0172-85-3315)

# FMアップルウェーブ「津軽いじん館」に 榎田所長が出演しました！

津軽の人物にスポットを当てたインタビュー形式のトーク番組「津軽いじん館」(FMアップルウェーブ)に、当事務所の榎田所長が出演(令和3年7月1日(木)放送)しました。



## 津軽ダム周辺で見かけた動物

最近、ダムの巡視中に見つけた動物たちです。カメラ目線で愛嬌がありますね。でも野生生物にはむやみに近づかないようにしましょう。



# 【告知】“津軽ダム” ダムライトアップ2021夏のお知らせ

◆日時： 令和3年8月13日(金)～8月20日(金)  
19:00から21:00まで

～詳しくはホームページをご覧ください～

◆場所： 津軽ダム

※ 浅瀬石川ダムは、夏のライトアップはお休みです。  
※ 災害が発生、または発生する恐れがある場合や、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況によってはライトアップを中止する場合がございます。ご来訪前に、岩木川ダム統管管理事務所ホームページをご覧ください。電話にて当事務所へお問い合わせください。



## 編集・発行

国土交通省 東北地方整備局  
岩木川ダム統管管理事務所

〒036-1422  
青森県中津軽郡西目屋村大字居森平  
字寒沢138-2

TEL 0172-85-3035  
FAX 0172-85-3061



(ホームページ) (Twitter)

岩木川ダム統管管理事務所  
ホームページアドレス  
<http://www.thr.mlit.go.jp/iwakito/>  
公式Twitter @mlit\_iwakito

## 編集後記

枝豆師匠の手ほどきを受け、6月に庭に蒔いた枝豆が順調に育ち30cmほどになりました。この辺りカラスの他にアライグマもいるらしく、収穫まで人間と動物達との知恵比べになるようです。さて、庭直送のとりたて枝豆を食べることが出来るのか。順調に進めば8月下旬から9月中頃の収穫の予定です。

先日、ダムカレーをオリジナルアレンジで作ってみました。日本ダムカレー協会HPによると、全国で190種類以上(2020年11月現在)ある人気のダムカレー。家族で作るとお子さんはもちろん、大人もしっかり楽しめますよ。自由な発想で是非！お試しくださいませ♪(森下)